



下妻特別支援学校 交流だより

令和2年度版

『交流及び共同学習』とは、誰もが互いに人格と個性を尊重し会える共生社会の実現を目指すために、障害の有無に関わらず、児童生徒あるいは地域社会の人たちが触れ合い、ともに活動する機会を設けることを目的としたものです。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、手紙のやりとりやテレビ会議等の間接交流を行いました。児童生徒一人ひとりが主体的に活動に参加し、地域社会の人たちと交流を進めることができました。

令和3年2月10日

上妻小学校との学校間交流

本校小学部3年生と上妻小学校の3年生とで、学校間交流を実施しました。今年度は、感染予防のため間接交流のみとなりました。上妻小学校ではボッチャのセットを買って、交流ボッチャをするのを楽しみにしてくれていたそうで、とても残念です。

同じ小学3年生同士、音楽や図工は同じ教科書で学習しています。12月11日（金）から18日（金）までの一週間、図工の作品を交換し合い、初めての作品交流を実施することができました。同じ単元の作品を交換し合うのはとても新鮮で、子どもたちも喜んで鑑賞していました。小学生のみなさんから、四季折々の華やかな絵手紙と、学校のことや友だちについて、たくさんの質問をいただきました。これから質問に答えたり、お礼のお便りを渡したりする予定です。



下妻第二高等学校との学校間交流

今年度は感染予防のため、Meetによるテレビ会議で交流をしました。

テーマは『お互いのことを知ろう』ということで、自己紹介、学校紹介〇×クイズを行いました。下妻第二高等学校の生徒が司会をつとめ、交互に個性豊かな自己紹介、工夫を凝らしたクイズが展開され、笑顔いっぱいの交流になりました。趣味の話などでは、「気が合いそう」「分かる分かる」などの言葉が自然に出るなど、互いに協力し合いながら、楽しくコミュニケーションをとる様子がみられました。



中学部作品交流

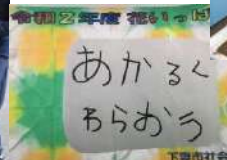
1月8日（金）から14日（木）に下妻中学校生徒と1月15日（金）から21日（木）に東部中学校生徒と本校中学部生徒23名で学校間作品交流を行いました。今年度は、感染予防のため、毎年行われている下妻中学校とのポッチャ大会が中止となり、間接交流のみの交流となりました。本校生徒は、下妻中学校の「切り絵」や「文字や形で伝える」と東部中学校の「グラデーションで表そう」の作品をじっくり見たり、作品の色使いに関心をもったりしながら鑑賞することができました。

相手校からは、本校生徒作品の感想をいただき、有意義な交流を行うことができました。



地域交流・花いっぱい活動

7月と10月に実施した花植え活動は、感染予防のため本校児童生徒と職員のみで行いました。下妻市青年会議所、下妻市婦人会上妻支部、下妻市社会福祉協議会、そして今年から参加してくださったグループホームえがおの皆さんからメッセージ動画をいただきました。児童生徒たちは、皆さんからのメッセージからパワーをもらって一生懸命に花を植えました。プランターは児童生徒たちから街の人たちへの応援メッセージを添えて下妻市役所や郵便局、道の駅など、公共の施設に設置しました。来年は一緒に活動できるといいですね。



地域交流・寄宿舎交流

11月に行った交流1回目は、さつまいもの蔓でリースを作り、半谷地区区長さんともみの木保育園副園長さんに手紙を添えて送りました。交流した地域の方からは、「リースの飾り付けが素敵で素晴らしい」「寄宿舎生が一生懸命作っている様子が目に浮かぶ」との感想をいただきました。

2回目は、芋版で作った絵手紙に俳句をつけた作品を作成中です。



このおたよりで紹介した交流の他にも、居住地校交流（手紙のやりとり）を実施しました。また国際理解教育講師等派遣事業ワールドキャラバンを2月18日にテレビ会議で実施予定です。